

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 下水道の整備	② 施策番号	6305
③ まちづくりの方向〔政策（章）〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大（節）〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	4 下水道整備の推進		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
都市整備部	下水道課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	下水道計画区域内の市民及び事業者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	公共下水道を整備し、普及率を上げるとともに既存の公共下水道施設の維持管理を適切に行い、安心して下水道を使用する。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	国や府から生活排水処理施設の早期の概成が求められており、下水道の整備を急ぐ必要がある。近年、社会資本整備総合交付金の要望額に対する内示率が減少傾向にあり、今後さらに厳しくなる見通し。また、国からはストックマネジメント計画の策定を期待されている。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	下水道普及率	%	普及率が増加することにより、下水道に接続する世帯が増え、水質環境の改善が図られるため。
	計算式：整備済区域内人口／行政人口		
②	計算式		
③	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	下水道普及率	%	目標値	55.2	55.2	57.7	57.7	57.7	
			実績値	56.9	57.3	57.5	—	—	
			達成率	103.1%	103.8%	99.7%			
②	計算式		目標値	99	99	100	100		
			実績値	100	97	99	—		
			達成率	100.5%	98.3%	99.6%			
③	計算式		目標値	90	90	90	85		
			実績値	89	89	87	—		
			達成率	98.9%	99.1%	96.9%			

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	別紙様式											
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	12						2,151,432	1,868,212	2,076,257			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	効率的な整備を進め、適切な維持管理を通して生活排水などの汚水を適正に処理して公共用水域の水質を保全し、公衆衛生の向上を実現するため、公共下水道の効率的な整備を進めるとともに水洗化の促進を図り、清潔で快適なうおいのあるまちづくりを推進する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	微増ではあるが、着実に進捗している。下水道整備には時間と予算、そして継続性が必要
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	宅内の排水設備工事が欠かせないことから、市民の協力により更なる水洗化向上が見込める。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	必要な事務事業で構成されており、適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	下水道普及率の向上を図るためには、公共下水道整備事業が特に重要であり、計画的で着実な下水道整備を図るためには、公共下水道計画事業が必要である。また、ポンプ場の正常な運転により雨水整備の効果が得られるため、ポンプ場管理事業は重要である。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	微増ではあるが、着実に下水道普及率が向上しており、施策は適正に行われている。今後は下水道の整備計画と合わせ、既存の下水道施設のストックマネージメントの進め方(優先順位を含め)を検討していく必要がある。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	未水洗家庭を全戸訪問し、水洗化の促進を図る。 ポンプ場の長寿命化計画に基づく工事実施。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	継続的に未水洗家庭を全戸訪問し、水洗化の促進を図る。 ポンプ場の長寿命化計画に基づく工事実施。 ストックマネージメント計画の策定。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	ストックマネージメント計画に基づく工事実施。 事業計画の策定。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	下水道事業に係る各種取組により、施策は適切に行われている。 維持管理に係るコストの低減や効果的・効率的な整備により、既存設備の維持更新・長寿命化と普及率の向上への取組を計画的かつ適切に進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	汚水管渠管理事業	汚水管トラブル	件	0	0	0	3,837	3,449	3,758	A	ア	
2	雨水管渠管理事業	雨水管トラブル	件	0	0	0	5,462	5,550	6,199	A	ア	
3	ポンプ場管理事業	運転トラブル	件	0	0	0	89,011	82,514	32,441	A	ア	○
4	受益者負担金賦課事業	負担金収納額	千円	5,956	6,547	7,003	6,419	4,379	5,211	A	ア	
5	水質管理事業	異常水発生件数	件	1	1	1	2,196	1,542	2,128	A	ア	
6	排水設備工事促進事業	接続件数	件	121	169	200	8,947	8,507	8,512	A	ア	
7	公共下水道整備事業	下水道普及率	%	57.3	57.5	57.8	151,034	162,874	325,924	A	ア	◎
8	公共下水道計画事業	下水道普及率	%	57.3	57.5	57.8	51,175	8,813	34,799	A	ア	○
9	公共下水道管理事業	台帳整備済延長	m	192,780	192,780	194,995	3,551	7,245	21,695	A	ア	
10	雨水貯留タンク設置助成事業	補助件数	件	10	2	30	959	1,129	1,873	A	ア	
11	受益者負担金収納事業	収納率(現年度分)	%	97.34	99.15	99	2,066	2,960	3,009	A	ア	
12	下水道事業経営事務事業	経費回収率	%	89.2	70	85.1	1,826,775	1,579,250	1,630,708	A	ア	
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
計	12						2,151,432	1,868,212	2,076,257			